

# 夢想神伝流 宗像居合道同好会



第四代会長  
剣道 教士七段  
居合道 五段

吉武 宏

故範士八段山下貞利先生の弟子、橘園一先生（当時五段、現居合道・剣道教士七段、元宗像光陵高校教師）を師範に迎え、昭和五十八年四月一日「宗像居合道同好会」を結成した。結成して今年三十五周年を迎える。

現在会員は、約二十五名。流派は「夢想神伝流」である。

この流派の始祖は奥州出羽・林崎村（現山形県村山市楯岡町）に生まれた林崎甚助重信とされている。当時「林崎流」・「重信流」と称され、後に門弟達によって工夫・研究され多くの流派が生まれた。

しかし、居合いは、剣道と共に廃刀令によって衰退。その居合不振に光を当てたのが、現代居合道の始祖中山博道である。二人の師の教えを受け、内外不出の英信流を修得、これに自らの工夫を加え、「夢想神伝流」を打ち立て、世に出したものである。

私共の流派は、この中山博道の流れをくむものである。

## 演武者

四段	美田智和
三段	吉田輝男
二段	中村憲一
二段	木原修
初段	木原昭
初段	斉藤豊
初段	矢作昇

# 泉心流古武道 鴻志会



泉心流古武道

第三代目宗家

高井善三

昭和六十二年初代宗家 入江泉心（幸敏）氏が新影流流祖  
上泉伊勢守信綱の武道に対する高邁な精神と、武術の精妙さ  
の片鱗に触れたい思いで、恐れながら開租の「泉」とその精  
神を「心」として泉心流を興したものです。

その後二代目宗家安藤重敏並びに、現在の三代目宗家とその  
想いを継承し、修行に励んでおります。

演武者

宗家	高井善三
免許	岡藤敏生
中伝	高井義治
中伝	宗隆行
中伝	宮木紀昭
中伝	梅津貞政
目録	石原涉
目録	桑野遥海

# 高伝館合気道 福岡道場



高伝館合気道 五段  
福岡道場長

戸田 裕 宏 昭和四十一年生

高伝館合気道福岡道場は、合気道創始者植芝盛平が設立した公益財団法人合気会の公認道場です。合気会は日本国内百万人世界全体で百六十万人もいわれる合気人口の八割を占めています。高伝館の福岡道場は平成二十八年七月に春日市スポーツセンター武道場に新しく開設しました。

合気道は相手といたずらに強弱を競いません。入身と転換の体捌きと呼吸力から生まれる技によって、お互いに切磋琢磨し合って稽古を積み重ね、心身の練成を図ることを目的としています。合気道は年齢に関係なく、子供から大人まで老若男女稽古できます。腕力を必要としないので護身術としても最適です。

子供や女性でも自分の身を守ることができるようになります。自分のペースで稽古できますから無理なく楽しく学ぶことができます。



県合気道連盟演武会に於いて

## 演武者

五段	戸田裕宏
五段	原田朋子
初段	西村英行
初段	松村貴洋

# 日本空手古武道会



日本空手古武道会 四段  
豊前支部 師範

**横 畠 神 太** 昭和五十五年生

日本空手古武道会は、本部を福岡県北九州市三郎丸に置き

- ・ 椎田支部（築上町）
  - ・ 北九州支部（本部）
  - ・ 豊前支部（豊前市）
- の三支部で活動を行っています。

流派として、沖縄（琉球）空手の千唐流（千歳 強直先生・熊本市本部）の流れを受け、日本の古武道を愛し空手の発展と普及、自己の確立のために、日々練習を行っています。

この度は、平成三十年記念 福岡県武道大会開催を心よりお慶び申し上げます。

今大会が、武道家の更なる発展の機となるようお願いしております。

押忍



演武者

四段師範	横 畠 神 太
四段師範	田 原 雅 史
三段	坂 田 和 子
四級	山 本 真 由
四級	佐 々 木 智 子
五級	佐 々 木 圭
五級	横 畠 めぐみ
六級	佐 々 木 史 登
七級	横 畠 美 月



# 拳法道 拳正館



拳正館 館長

## 山崎忠則

拳正館で行う拳法は日本武術の一流派で、そこに私の経験や発見を加味して確立したものです。その武術的特徴は、一対一の場合だけではなく、複数の相手や凶器を持つ強力な相手に対応するための技法を有していることです。また、これらの技法を習得するための方法を拳正館メソッドと呼び、その要素を五つに分けることが出来ます。まず技法として三つの要素があります。

①剛柔剣の三法 一体の技法 拳正館の拳法は、突き蹴りなどの剛法、逆技や投技、圧法などの柔法、そして武器を使う剣法の三つが一体になっています。

②六つの戦術要素 三法一体の技法を使い相手を制するための方法で、抑え・捌き・崩し・仕掛け・交叉法からの極め技へと流れる戦術です。

③拳法力（法力・ほうりよく） 技法を極めてゆくことによって、見えざる力などと呼ばれる法力をはじめいくつかの術理を得ることが出来ます。これらを使って力を極力使わない技法へと質的転換をしていきます。

またこの三つの要素を習得するための稽古方法が二要素あります。  
④基本、相對、乱捕りなどの稽古方法 基本の稽古や、実際に人と対して行う相對稽古、自由度を増して行う乱捕稽古があり、実質的な強さを身に着けます。

⑤拳禪一致、心身一如を目指す修業方法 術技の向上の為に絶対的に必要なものが心の修行です。その修行方法を古の武士が学んだ「禪」に求めています。いわゆる三昧の境地を得て、先が取れる真の極意（法力）を体得していきます。

ちなみに拳正館の名の由来を申し上げますと、「心正しければ、即ち拳正しく、心邪（よこしま）なれば即ち拳邪なり」という故事からきており、常に心を正しくして拳を修めるといふ願いから拳正館と名づけました。武は身を守る術（すべ）として素晴らしいものがありますが、心が邪になれば単なる暴力に成り下がってしまいます。拳正を宗とし戒めなければなりません。拳法の修行を通して身心を鍛え、常に心正しく強くあろうと願います。心を正すことは自分との戦いとなり、畢竟武術の極意となります。人生においても日々修行です。



### 演武者

二級	初段	二段	二段	四段	五段	館長
高木謙作	虎口幸生	小野田直希	白石涼華	平原昭和	善正敏	山崎忠則